

かわにしの初夏をホタルが舞う

# 息をのむ光景

豊かな自然の象徴、ホタル。6月を迎えると川西各所の小川で乱舞します  
人里を好むといわれるゲンジボタル  
その生育環境を保つことは難しく、壊すことはとても簡単です  
ホタルスポットを訪れるその前に  
奇跡の光景の理由を考えてみませんか

今年見られても来年いるとは限らない



人の生活が作る  
恵まれた生育環境

Interview

川西自然教室・自然ふれあい講座  
リーダー 平田信活さん

ある瞬間、小川全体が呼吸をするように光を帯びるんです。あれは言葉を失う瞬間でした。つい数年前まで、そうだったホタルのすみかが幾つかありました。

程よい人里ということもあるんでしょうね。過度に河川の整備が進むと、ゲンジボタルはすめなくなりまして。その一方で、餌となる貝、カワニナは藻などを必要としますから、いわゆる「清流」にすむというわけではなく、農業用水路や、穏やかな流れの河川にすみ付くものです。その特徴に当てはまる環境なんですよ。

今でもゲンジボタルが乱舞

する小川はありますが、当時とは比べものになりませんし、水田や池にすむヘイケボタルも、かつてほど姿を見せなくなりました。

ヘイケボタルが、まるでダイモンドダストのトンネルのように輝く中を歩いた経験が一度だけありました。あの場所もすっかり変わってしまいました。

私たちは定期的にホタルの数を調査していますが、次第に姿を消し、全くなりなくなっただけです。想像してみてください、灯が一つ一つ消えていくようなものです。今いるホタルが来年もいるとは限らないんですよ。

## ゲンジボタルの分布する中部・北部地区

一庫大路次川や猪名川の上流・支流では毎年5月下旬～7月にかけてゲンジボタルの乱舞が見られます。生育する小川付近には専用の駐車場はありませんので、公共交通機関を利用し、近隣住民に配慮するなど、マナーを守って観察してください

## ホタル観察の作法

### 一般的な見学の仕方

#### ✓ 持ち物と服装

長袖・長ズボンは必須  
草むらを歩くため、木の枝や鋭い葉などから手足を守ります  
懐中電灯で安全確保  
暗い足元を照らすのに必要です

#### ✓ 観察の前に

気温や湿度を確認  
風がなく蒸し暑い日に、活発になることが多いといわれます  
明るいうちに現地へ  
ホタルのすみやすい環境を残しているため、整備していない場所が多くあります。暗くなる前に歩く場所を確認しておく安心です

#### ✓ 観察するとき

車は駐車場に駐車  
歩いて観察するため、車は駐車場に駐車します。公共交通機関の利用が基本です  
明かりは最低限  
懐中電灯を使うのは移動する時だけ。ホタルや付近の民家には向けません  
静かに見る  
山林の中でも近隣に家があるかもしれません。騒がず大声を出さず観賞します。また、私有地に勝手に入ることは違法です



通常午後5時以降は入場できません

## ホタルの観察は おとなになっても残る記憶

す。ホタルは人里に生息する身近な生き物。すぐ近くには民家や田畑があり、誰かの生活があることを忘れないでください。  
**初心者のためのイベントを開催**  
ヒメボタルやゲンジボタルが見られる国崎クリーンセンターでは、啓発施設ゆめほたるが毎年ホタルの観賞イベントを開催しています。

トを行っていません。マナーの話はもちろん、ホタルの生態や特徴などの説明もありますよ。初めてホタルを見る場合は、こういったイベントに参加してみるのもいいかもしれませんね。  
観賞場所へは、明るいうちに行くのがおすすめです。よ。あらかじめ足元を確認できるのはもちろん、生い茂る草やカエルの鳴き声、初夏の夕方の匂い、少しずつ薄暗くなっていく景色、そして暗闇に舞うホタルの姿、その全てを体感できます。子どもたちにとって、その経験がおとなになっても記憶に残るんだと思います。



## そっとすみかを のぞかせてもらう

Interview

国崎クリーンセンター  
啓発施設ゆめほたる  
副所長 大西蘭子さん

「草むらの奥に行けばもっとたくさんいるんじゃないか」と、探したくなる人もいます。草むらや河原を踏み荒らすと、すみかを壊してしまったり、地面や河原にいるホタルの幼虫を踏んでしまったりすることもあります。そっとのぞかせてもらうように楽しむことが大切です。  
優雅な舞を見せてくれるホタルの成虫の命は1、2週間。水分しか取らないため、寿命が短いのです。生態系を守るためにも、捕まえても必ずその場に返してあげてください。ホタルのすみ環境でしか美しい景色は見られないんですよ。

## 見る前に学ぶ

Manners to Protect Fireflies

### 貴重な景色を残すため 環境を変えない

鮮やかに発光し夜空を舞うホタル  
県内ではゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルが見られます  
それぞれ異なる特徴と生育する場所  
何も知らずに探しても  
簡単に見つけられるものではありません  
また、知らず知らずのうちに生態系を壊してしまうかもしれません  
ホタルを見るその前に  
私たちが知っておくべきことを紹介します

### 環境と地域へのマナー

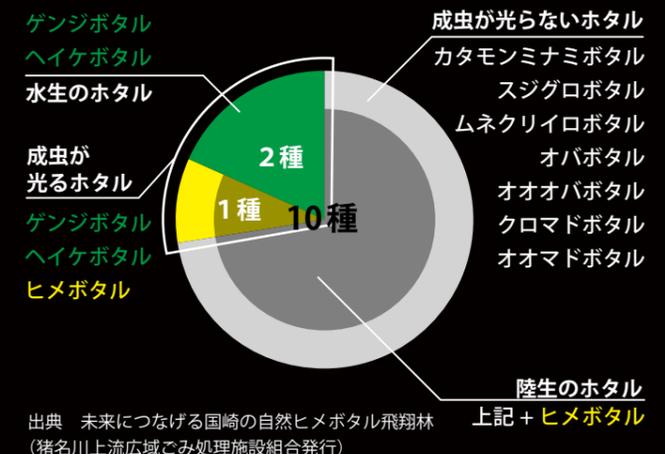
多くの人に幻想的な景色を見てもらいたい反面、できるだけホタルに影響のないようにしなければなりません。  
ホタルを見るのは夜。安全確保のためライトは欠かせませんが、あたりが明るいと見にくくなります。最低限の明かりで足元を照らし、目が慣れたら消して観賞します。  
「草むらの奥に行けばもっとたくさんいるんじゃないか」と、探したくなる人もいます。草むらや河原を踏み荒らすと、すみかを壊してしまったり、地面や河原にいるホタルの幼虫を踏んでしまったりすることもあります。そっとのぞかせてもらうように楽しむことが大切です。  
優雅な舞を見せてくれるホタルの成虫の命は1、2週間。水分しか取らないため、寿命が短いのです。生態系を守るためにも、捕まえても必ずその場に返してあげてください。ホタルのすみ環境でしか美しい景色は見られないんですよ。

## ホタルの種類

県内で見られるホタルは10種類。その中でも、成虫になってからも光るのは、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種類のみです

- ゲンジボタル** 光り方 日本固有の川のホタル。黄緑色に発光します。点滅間隔は長く、1～2秒。成虫は5月下旬～7月下旬に見られます
- ヘイケボタル** 光り方 田んぼなど止水のホタル。黄緑色に発光します。点滅間隔はゲンジボタルより短く、5月～7月下旬に見られます
- ヒメボタル** 光り方 日本固有の森や草地のホタル。金色に発光します。点滅間隔は短く、フラッシュのように輝きます

### 兵庫県のホタル



## 観察 ヒメボタル観賞会

6月29日土曜日開催

申し込み締切は6月22日(土)

ホタルの見分け方や観察のマナーを学び、ヒメボタルを観察します。敷地内で階段のある道を約200m歩くため、履きなれた靴と長袖・長ズボンを身に着け、懐中電灯を持参してください

主催 国崎クリーンセンター啓発施設ゆめほたる  
日時 6月29日(土)午後10時～午前0時(荒天中止)  
場所 国崎クリーンセンター  
費用 500円  
定員 40人(先着順)  
申し込み 6月22日(土)までに電話でゆめほたるへ  
問い合わせ ☎(735)7282

# 動きを知る

Knowledge to Protect Fireflies

## 貴重な景色を残すため 活動をする人たちがいる



ホタル復活プロジェクト  
前田誠通さん

Interview

宝塚医療大学勤務。「身近な自然とまちを考える会」の常任理事であり、キセラ川西せせらぎ公園で活動する市民グループ「ホタル復活プロジェクト」のアドバイザー

### 北小付近にいるホタル

車の多い県道のすぐ脇でゲンジボタルが生き残っているなんて、思ってもみませんでした。そこは川西北小学校付近の水路。わずか10頭程ですが、毎年6月になるとホタルの姿が見られます。

市街地の中にあり、夜でも明るい場所です。厳しい環境の中で生き延びてきたのは奇跡ですね。

水路の先にはキセラ川西地区のせせらぎ遊歩道があります。ホタル復活プロジェクトのメンバーと一緒に水生生物を調べ、ホタルの住める環境

### 身近にいるかも知れない

開発された新しいまちに水路が残されているのは、素晴らしいことだと思います。

今回、川西北小学校付近で見つかったように、気付かないところで身近にホタルが生き延びている場所があるかもしれないと思います。昔のように、近所で見られるようになれば良いと思います。

### いつか見られると信じている

かつてのホタルの姿  
この景色はもうありません  
人と自然のバランスから生まれる奇跡  
私たちの行動一つで変わることがあるはずですよ

## ふるさと川西の 自然や生物と共生する

生物多様性ふるさと川西戦略

### 自然と文化を次代へ 引き継ぐための計画

ホタルのすめる環境を守るため、私たち一人一人にできることがあります

#### 身近なエコアップ

水路や川の清掃時に最低限の草木や砂利を残すことで、ホタルの好む環境を守ることができます

#### 遺伝子の多様性の保全

地域ごとに異なるホタルの遺伝子の多様性が壊されるため、市から離れた地域からホタルを持ち込まない

この他、市が定める「生物多様性ふるさと川西戦略」では、市内の生息地や特徴、日常にできる行動などを紹介しています。市ホームページまたは市役所3階の環境衛生課で閲覧できます

問い合わせ 環境衛生課 ☎(740)1202



1\_川西北小学校の東門付近を流れる水路。キセラ川西まで続く  
2\_キセラ川西せせらぎ遊歩道でホタル復活プロジェクトのメンバーが水生生物を調査